

みやけの風

第 201 号

平成16年(2004年)12月4日(土)発行
 発行：三宅島災害・東京ボランティア支援センター
 発行責任者：上原 泰男
 東京都新宿区神楽河岸1-1 セントラルプラザ 10階
 東京ボランティア・市民活動センター 気付
 TEL：03-3260-7573 FAX：03-5229-1646
 E-mail：tokyocenter@cmpo.org

最後のふれあい集会は11月末とは思えない暖かな陽気で何よりでした。懐かしい顔に違い、会場でゆっくり過ごしていただけたことと思います。避難して4年3ヶ月、9回もの集会を支え続けてくださったボランティアの皆さんに感謝しています。「島に帰るときも手伝うよ!」とのことですので、まだまだ長い付き合いになりそうですね。

みんなの声

第9回三宅島島民ふれあい集会は、先週日曜日、快晴の空の下、無事開催されました。たくさんの方々の協力の賜物と、事務局一同感謝申し上げます。ご参加いただいた方から、いくつか感想をいただいておりますので、ご紹介します。

三宅島を思い出した一日

昨日は、「島民ふれあい集会」へ、個別配車をしていただき、ほんとうにありがとうございました。

身体的な理由で、帰島を断念せざるを得ない私にとっては、希望の熱気に満ちた会場の雰囲気は、多少寂しくも感じられましたが、会场上空の青く澄みわたった高い空に、しばし三宅島を思い出することができました。

ご関係の皆様にくれぐれもよろしく、御礼を申し上げます。ありがとうございました。
 (杉並区 遠藤正子代筆)

島嶼郷友連合会初出展

島嶼郷友連合会は、三宅島島民ふれあい集会に初めて参加させていただきました。当会からの出し物は、クサヤ、焼酎でありましたが、34名の皆さんが、クサヤを焼く人、酒を振舞う人、水を注ぐ人に分かれて協力して下

さいました。

長期の避難生活を余儀なくされた皆さん、いかがでしたか?

会場では、なつかしい語らいと楽しい出会い等の渦、一日の流れの中で楽しんでいられる来場者の方々にとって、小さな励みではあったと思いますが、私たちの意図していた所期の目標は達成せられたのではないかと満足しています。

このふれあいの場は、私たち、郷友連合会にとっても、新しい人間関係の輪が広がり、島と島の共生、連帯感が一層強くなったと確信します。

三宅島の皆さま、どうぞ元気で頑張ってください。2~3年後には、島嶼郷友連合会が多勢で三宅島を訪れたいと思います。そこでまた、お会いしましょう。

(島嶼郷友連合会理事長 大沢 博紹)

ふれあい集会当日には、ボランティアに対して、島民の方々からの有形無形の『ありがとうメッセージ』をいただきました。以下にご紹介するのは、ステージでご挨拶いただいた早川マス子さんの言葉です。北区桐ヶ丘ボランティア会女性部の方々や、小松川高齢者支援センター、港区在住三宅島民有志の方々からの心のこもった手作りの小物、三宅島げんき農場からは、三宅島特産の『赤芽いも』が、参加したボランティア全員に手渡されました。皆さま、ありがとうございました。

4年間の感謝を込めて

会場にいらっしゃるボランティアの皆様、昨日の準備に引き続き、今日も早朝から、私たちのために、たくさんの方々がお集まり下さいましてありがとうございます。(中略)

今から四年前の六月、(中略)途方に暮れているさなか、多くのボランティアの方々が島外から灰を取りに駆けつけて下さいました。そして高齢者や独り暮らしの家等を中心に一気に灰を取り除いていただく事が出来ました

が、9月には島外避難と言うことになりました。それ以来、私達は本当に数え切れない程多くのボランティアの皆さんに金銭、物資、労力そして精神面等と、あらゆる面で支えられて参りました。日常、避難生活をしている時、絶えず皆さんのバックアップがあるという心強さにずっと心も和んだ都会生活でした。

離ればなれになっての避難生活をしていく中で、三宅島災害東京ボランティア支援センターが中心となり『三宅島島民電話帳』の作

成、そして避難直後の12月3日にはこの会場で、第一回島民ふれあい集会を開催していただいたりしました。そのお陰で、バラバラになった私達島民は再会を喜び、その後の安否を電話で確認し合い、三宅島へ帰る時は皆一緒に元気で帰ろうとお互いに励まし合いながら今日までやって参りました。

この第一回ふれあい集会に参加した時の喜びを、そのころ90歳だった年老いた私の義母は、「久々に会えた島人 いとおしく話し弾めば 心豊かに」と歌に詠んでいます。この様に多くの村民が、回を重ねる集会の度に元気をもらったものでした。

そして今日、第9回ふれあい集会が開催されました。この様に私たちは元気にまた集うことが出来ました。長い年月の避難生活です。月日がたてば、ややもすれば忘れられがちな私たち三宅島島民をずっと支えていただきましたことは、言葉では表すことが出来ない、本当になんとお礼を言って良いのか言葉に詰まります。

私たちは皆様に今は何のお礼も出来ませんが、これから避難指示解除になったら、三宅島へ戻って、噴火前のような緑豊かな自然美溢れた島作りに精を出したいと思えます。三

宅島は私たちの故郷です。そしてボランティアの皆さんにもどこかにご自分の故郷があるかとは思いますが、これからは三宅島を皆さん方の第二の故郷にして下さい。都会の生活やお仕事等でお疲れになられた様な時には、第二の故郷三宅島へも是非いらして下さい。島民の生活が落ち着いた時、避難生活の私達を支えて下さった皆様、誰もが心を癒されるそんな故郷にしてお待ちしております。お世話になった事へのお礼の気持ちを込めて、三宅島村民一同、皆様を笑顔でお迎えしたいと思います。

今後島へ帰る家庭、こちらへ残らざるを得ない家庭と方向は様々です。問題がたくさん蓄積しています。どちらにしましても、私達はまだまだ皆様のお力添えが欲しいのです。

どうかこれからも今まで同様私達にお力をお貸し下さいますよう宜しくお願いいたします。何万分の一しか気持ちが表されませんが、どうか村民の気持ちをお酌み取り下さいますよう宜しくお願いいたします。

高い席から大変失礼いたしました。最後にもう一度、ボランティアの皆様、本当にありがとうございました。

(港区港南 神着 早川マス子さん ご挨拶より)

耳より情報 その1

本日！映画『ガイア シンフォニー 第5番』にご招待

＊＊あきる野市の穴原さんよりの情報です＊＊

日時：2004年12月4日(土) 12:30開場
13:00～14:00 監督 龍村仁さんの講演
14:15～16:00 映画『ガイア シンフォニー 第5番』上映
場所：福生市民会館 大ホール(JR青梅線牛浜駅より徒歩6分)
＊当日受付で『三宅島島民です』と言ってください。

耳より情報 その2

『年忘れお笑い大会』のご案内

帰島方針もようやく決まり、何とか明るい兆しが見えてきたところですが、帰島してもこれまで以上に厳しい生活環境が予想されます。そんな中、そうしたご苦労をされている皆さまが、ご心痛を一時でも忘れていただくため開催してきた『年忘れお笑い大会』も今回で最後となります。年末のお忙しい時期とは思いますが、ささやかな食事と楽しいショーで、三宅島の復興に向けた活力を養い、励ましになれば幸いと思えますので、多くの皆さまのご参加をお待ちいたしております。また、例年どおり送迎バスをご用意しておりますので、地区の方々をお誘いあわせの上、ご応募ください。

日 時：2004年12月19日(日) 11:45～16:00

会 場：京王プラザホテル(JR新宿駅西口 徒歩8分)

新宿区西新宿2-2-1 TEL：03-3344-0111

募集人数：300名(先着順)

申込方法：官製はがきに三宅島での住所と避難先の住所・氏名・年齢・電話番号を明記の上お申し込みください。なお、お電話での申込も受け付けております。

お問合せ：年忘れお笑い大会実行委員会事務局 三宅島郷友会

TEL：03-3235-3334(三宅島社協 呼び出し) 12月3日より 13:00～17:00